

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり江刺岩谷堂児童課 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 1月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員全体が共通認識の下で、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した検討が行っている。	子どもの特性に配慮し状況に応じて支援をしている。朝会時に振り返りや支援の検証や改善につなげている。また、アセスメントを適切に行い個別支援計画を作成している。	利用日の形態(平日・休日・長期休暇)に応じた課題の設定や、職員会議などによる定期的なモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。
2	支援以外の日々の業務改善を進めるPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、すべての職員が共有し改善を推進している。	・業務の中で気付いた点や改善・工夫など、情報を共有する職場環境を目指し励行している。支援やサービスには明確な基準がなく、常に広い視野で“目配り・気配り・心配り”に配慮している。一方で、支援内容も固定化することなく常に試行錯誤を繰り返し、失敗を成功に繋げるよう心がけている。	業務中に気付いた点や改善点などについて、朝のミーティングや職員会議時に意見を集約し、プランを具現化し実行に向けている。
3	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っている。また、活動が固定化しないよう工夫をしている。	・個々の特性に配慮した環境作りやスケジュール・個別の課題を提供している。一方で、“社会適応訓練”“日常生活訓練”等目的に傾かないようにしている。	・利用時の行動や活動・課題を織り込んだスケジュールを提示している。活動には個別支援計画や創作・運動・季節行事など盛り込み、実施結果を記録して支援の継続を図っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用定員やこどもの状態に応じた職員数を、常に適正な体制となるよう配置しています。一方で朝送迎時の利用者が多く、朝に職員数を多く配置する事や、送迎対象の学校数が多いため受入れ職員数にやや不足が生じる時間帯がある。	職員配置基準は遵守しており、利用者全体の受入れや支援体制に支障をきたすことがないよう、就労事業所との連携協力により多機能事業所として機能出来るようにしている。現状では、朝送迎や学校数などは保護者の要望に答える結果として、今後も工夫しながら受け入れを図っていく。	なるべく複数の学校を送迎対象として、職員を有効に配置するよう工夫をしている。また、通常は送迎時は学校へ送り届ければ戻りとなるが、帰路に空車にしないよう就労事業所の利用者を迎え入れる等、有効な活用を行っている。
2	自立支援協議会子ども部会への参加や、児童発達支援センター等の関係機関と連携を図る事。参加放課後児童クラブや児童館との交流や、地域との交流を深める取組は、コロナ禍以降については感染症予防の観点から希薄になっている。	多角的な情報共有による支援を図るには、関係機関等との連携は重要となっている。また地域との共生やこどもたちの療育から、児童施設や老人施設等の訪問などによる交流は有用で、早期な対策を講じて行きたい。	感染予防に努めながら段階的な地域交流を検討実施している。
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っており、運営上の事業安全計画を策定しているが、業務継続計画(BCP)が災害・感染症等の発生時に事業継続をするより具体的な計画見直しをしなければならない。	災害時への対応訓練と併に、自然災害や感染症発生時の事業への影響をいかに軽減し、継続出来るかが重要となってくる。また、利用者や職員の安全確保などを盛り込んだBCP策定を推進する。	気候変動に伴う自然災害や季節に関わりない感染症拡大など、日常生活を脅かす事態が身近に懸念され、地域特性を考慮した計画を策定する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					回収数	
ひだまり江利岩谷堂 放課後等デイサービス		令和 7年 3月 31日					24名	19名
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	4				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	6	2	1	・朝送迎の対応していた職員が遅くまで仕事をしている事があるので、職員数が足りていないと思う。 ・職員が目が届いていないと感じる事がある。	・職員間で声掛け等しながら運搬し、支援の目が途切れないように心がけていく。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	3				
適切な 支援の 提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	2			・個別支援の取組みを多めにしてもらいたい。	・連絡簿にて、取り組んだ状況を都度発信していく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19					
	7	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	2				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	2		1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	3	5	5	・機会があれば交流してみたい。	・今後、交流の機会を設けられるよう、考えていく。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	5		2		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	17	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	3			・利用者が増えてきたことで、以前より話す事が軽しいと感じる事がある。 ・子どもの事以外でも相談に乗って頂き助かっている。	・必要に応じて面談の機会を増やす等、相談の場を設けていく。 ・利用者のごこと以外でも話しやすい雰囲気を作っていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19					
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	2	1	5	・交流の場に参加できていない為よくわからない。	・保護者会入会案内や、行事案内の仲介を続けていく。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	1			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17		1	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	8		1	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の職員がいる時が1番楽しそうにしている。 ・友達との関係に不満を言う時があるが、通所自体は楽しみにしている。 ・同年代の友達との関わりが少なく、楽しみにしているとまではいかない。 ・活動の内容により楽しみにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の職員以外とも楽しくすごさ得るよう話題の提供をしていく。 ・通所が楽しみになるような活動等を提供していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	3			<ul style="list-style-type: none"> ・帰宅時に玄関が込み合う時の対応を検討して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の把握との兼ね合いを見ながら善処していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひだまり江刺岩谷堂 放課後等デイサービス		公表日 令和 7年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	6		・ブレイルーム・学習スペース・活動スペースを配置し、個別支援が出来る場所も併設している。 ・室内をカラーボックスやテーブルでスペース分けし、利用者が一か所に集中しないよう工夫している。 ・死角がなくなるよう、家具の配置している。	・ワンフロアで支援を行っている為、学年や発達に応じたスペース、個別のスペース分けが難しい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・個々の特性や男女・年齢に応じて活動を検討し、適宜配置している。 ・規定を満たした職員数である。 ・利用人数を確認しながらシフト調整をしている。職員が体調不良で休んだ際には、学校送迎等の対応を工夫している。	・職員が体調不良等で休みが重なった場合、事業所側の応援や法人本部との連携が必要である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・構造的に良好な環境作りを検討し、活用スペースを視覚（イラスト表示）で認知出来るようにしている。 ・場合によってはパーテーションを使用し、視覚情報を軽減するようにしている。 ・トイレはバリアフリーになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・感染予防に留意し、絵カード等も使い分けやすい支援を工夫している。 ・毎日の清掃、消毒に取り組んでいる。	・清掃と消毒はもとより、整理整頓も都度行いながら、過ごしやすい空間を意識していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・横になって休めるスペースの確保。課題等に集中できる空間を配置している。 ・着替えのスペースを高さのあるパーテーションで仕切り、静かに過ごしたい場合にも活用している。	・視覚的に落ち着けるスペースはあるが、音を遮断することは難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・目標を設定し、実行。また、その評価をし、改善を実施している。 ・業務の中で気付いた点や改善点等について、朝会や職員会議棟で話し合い、改善後の変化等についても確認出来る。	・当日休みだった職員も分かるよう、話し合った内容を職員連絡帳（日誌）に記入し、確認できるようにしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・評価表での意向を反映。日々保護者とのコミュニケーションにより要望を受け入れて改善を図っている。	・今後も保護者の意向を把握し、業務改善に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・常に提供サービスや支援方法について、振り返りや協議を重ね、意見の反映に取り組んでいる。	・毎日の朝会や職員会議、必要に応じたミーティングを行っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・今後の検討課題となっている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・幅広い知識習得の為、積極的に外部研修への参加や内部研修を行っている。	・研修で学んだことを、職員間で共有し、日々の支援に取り入れていく。 ・今後も積極的に研修に参加し、学んだことを活かせるよう心掛けていく。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・適切な支援プログラムの検討、作成を実施し、ホームページで公表している。 ・事業所内に掲示している。	・事業所に掲示するだけでなく、職員全員が内容を把握できるようにしていく。	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・個々の特性に配慮して、保護者と情報を共有、アセスメントを実施し、個別支援計画に活かしている。	・今後も保護者のニーズや利用者の課題に向き合い、適切な支援方法で、個別支援計画を作成していく。	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・支援する職員の多角的な視点から幅広い意見を取り寄せ、徐々にステップアップできる支援策を考慮している。	・児童発達支援管理責任者の主観だけでなく、職員全員で5領域を念頭に作成していく。	

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	・分かりやすく無理のない教材等を創作し、段階的に取り組んでいる。 ・支援の方向性について職員間で話し合い、共通理解の基支援を行っている。	・計画に沿った支援が行われたか、職員間で確認の場を設け、振り返りを行っている。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	・法人共有のアセスメントシートを活用し、保護者に聞き取りを行っている。 ・日々の利用者の状態や変化等を観察し、何が必要なのか職員間で話し合いを行っている。	・利用者の課題の整理や、支援の優先順位等、話し合えるようなアセスメントシートの作成も視野に入れていく。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	・5領域の視点で支援に当たり、家族との信頼関係を構築、地域・社会への将来的な移行を視野に入れ、関係機関との連携を深めながら支援を検討している。 ・本人支援はもとより、家族の相談に適切なアドバイスを行っている。また、進学や進級する際に於いて学校等と情報共有を行い、場合により支援会議の場を設けている。	・地域支援・地域連携については、感染症対策も行いながら、今後取り組んでいく。 ・今後もガイドラインの項目を理解し、適切な支援目標を設定していく。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	・複数人でプログラムを立案している。	・プログラムの目的を明確にし、利用者の発達に合わせた支援を行っている。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	・個性や特性に配慮し、マンネリ化しないよう工夫している。 ・「静と動」の活動、また、「社会適応訓練」「日常生活訓練」等、目的別に偏りが無いよう工夫している。	・利用者の発達や特性に合わせ、本人の自信に繋がるよう工夫していく。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	・個々にスケジュール表を活用したり、個別に課題を提示し取り組んでいる。 ・利用者の状況に応じ、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。	・集団活動が難しい場合は、事前に見通しが持てるようスケジュールを提示していく。それでも難しい時には、個別対応をしていく。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	・朝会に於いて、支援前前日の利用者状況、送迎、活動等の役割分担などを確認している。	・見守りや把握が途切れないよう、声を掛け合って支援にあたる。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	・時差勤務の為、終礼は行っていないが、その日の出来事や特記事項等を日誌等に記入し確認している。	・朝会で前日の振り返りを行い、利用者状況を確認する。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	・個別支援目標に向けた活動や日々の支援について記録を残し、振り返りや改善をしている。 ・連絡帳が複写になっており、事業所で支援内容を確認することが出来る。また、次の日の朝会にて支援の検証や改善策を話し合っている。	・活動の際の内容と支援方法だけでなく、個別支援目標に沿った支援内容についても詳しく記入するようにしていく。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	・概ね6ヶ月に1回、支援の効果を検証している。 ・モニタリングの内容については、保護者へ報告、確認を行っている。	・概ね6ヶ月に1度、モニタリングを行っているが、利用者の成長や状況に合わせて行うことも視野に入れていく。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	・ガイドラインに於ける基本を複合的に盛り込み支援を行っている。	・自己選択や自己決定を促すとともに、利用者同士の関わりの中で利用者が主体性を発揮しながら参加できるよう、支援していく。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	・複数のアイテムから選択して、自己決定できるよう取り組んでいる。	・選択肢を提示し、自ら選択できるよう声掛け等の支援を行っている。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	・利用者個々の特性を理解している担当者を含めた支援会議等を開催している。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	・医療機関への情報提供や、障がい福祉の関係機関との情報共有など幅広い連携体制を構築している。	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・学校の年間行事及び日々の下校時間などの把握や、学校からの連絡事項を密に連携している。	・下校時の引き渡しに関して、利用者の情緒や健康状態等、学校と情報共有を深めている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・利用開始前に事業所見学や園の職員との情報を共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・就労支援事業所等へ移行時に移行支援会議様を行い、情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・子育て支援センターなどへ見学に行き、就学前の利用者情報を確認したり、アドバイスを受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	・現在、交流等は行っていない。	・今後、多方面との交流や情報共有の場を検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	・事業所ごとの参加は無いが、法人（相談）では参加している。	・機会があれば積極的に参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・体調面や活動、課題への取組み等、その日の出来事を伝えている。 ・家族の様子や状況を常に把握できるようにしている。	・状況を伝え合いやすい関係性の構築に努める。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・子どもの問題行動を改善し、親子関係の強化を図る為の実践的な手法を提供している。 ・ペアレント・トレーニング研修の案内を行った。	・今後も機会があれば研修の案内等を行っていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時、当法人の運営規定や目的、具体的な支援方法について説明理解頂く事を心掛けている。	・契約時や問い合わせがあった際、丁寧な説明を行うことを心掛けていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・利用者や保護者の意見を尊重し、事業所が出来る支援方法等について説明し、理解して頂く事を常に心がけている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・サービスの目的や内容及び手法について具体的な提案をして同意を頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・家族から相談を受けた際は、必要に応じて個別に対応している。	・相談内容によっては、別途時間を調整し、面談を行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・保護者会の案内をし、家族同士の連携や交流を促進している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情や要望について内容を真摯に受け止めている。本部への報告はもとより、その対応や回答を速やかに取り組んでいる。 ・マニュアルが完備されており、マニュアルに沿った手順で進めている。	・苦情があった場合には、迅速かつ誠実に内容に向き合い、解決に向けて対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・「お知らせ版」を月1回発行している。また、ホームページで法人のイベント等を周知している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報の管理は徹底して行っている。 ・お便りやホームページ等への写真や名前の掲載については、保護者からの承諾がない利用者に対しては掲載しないよう十分に留意している。	・写真や名前の掲載については都度確認していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・社会で共生できるよう、インクルーシブな支援に努めている。 ・絵カードや文章、スケジュール表等を使用し、視覚的な支援を行うなど、特性に応じた配慮をしている。	・絵カードや文字等を使用し、分かりやすい支援を心掛けていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	・地域社会での認知は高まりつつあるが、感染症等が危惧される為、門戸が開きにくい。 ・感染予防の為、行っていない。	・感染症予防に努めながら、地域の方々との交流を計画していきたい。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 法人内でマニュアルを策定し、計画的、継続的に訓練を実施している。 年4回の避難訓練を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議等でマニュアルの読み合わせ等を実施し、内容の確認を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 気候変動に伴う自然災害や感染症拡大による事業への影響を考慮し、BCP策定と訓練を予定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害等の緊急事態に対する業務継続計画（BCP）は現在作成中である。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 利用者は医療との関わりが高く、服薬・病状等について保護者に確認している。 医療機関受診後に受診結果、服薬変更等の情報を保護者から頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で服薬等の情報共有を行っていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	6	<ul style="list-style-type: none"> 医療的判断が必要な利用者はおらず、今後必要があれば対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 契約時に保護者に確認を取る。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 安全計画を職員に周知し、定期的に研修や訓練を実施している。 委員会で作成したマニュアルに基づいて安全管理を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に事業所内外の安全点検を実施していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の連絡先を確認し、連絡が取れるようにして頂いている。また、緊急搬送先の確認もしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急連絡先を表にまとめ、電話の側、送迎車内、非常持ち出し用バッグに準備しており、変更があった場合すぐに更新していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ひやりはっこの要因を特定し対策を講じる貴重な機会と捉え、積極的に検討している。 ひやりはっこの起きた段階で職員間で情報共有し、対策を講じている。職員会議で改めて要因、対策を話し合い、振り返りも行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 同じような内容のひやりはっこの起きないよう、要因の特定、対策を職員間で共有していく。 対策が適切であったか、振り返りも行う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護チェックリストの活用や、委員会に於いて防止策を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修に積極的に参加し、虐待防止に努める。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 利用者の尊厳と主体性を尊重する為、保護者に同意を頂く。 職員間で慎重に協議し、必要に応じて保護者へ説明、同意して頂く。 現在、身体拘束の同意を頂いている利用者はいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 同意を頂いた場合は、身体拘束の記録を適切に取り、要因の特定、支援策の検討、改善策を講じ、身体拘束解除へ向けて取り組む。 	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり江刺第二桜木 放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 6日		～	令和 7年 1月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	19名
○従業員評価実施期間	令和 7年 1月 6日		～	令和 7年 1月 22日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	構造化の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内を区切り、それぞれの場所で何をするとどこかを分かりやすくしています。 ・写真や絵カード、スケジュール表、ルールブック等可視化し、誰が見ても分かるようになっています。 ・タイマー等の活用をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを取り、状況に合わせ必要な箇所については都度、改善していきます。
2	将来に向けた社会的スキル獲得のための支援	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや身だしなみ、報告の仕方、言葉遣い、時間の意識等を身につけるためのタイムスケジュールや個別支援を準備し支援を行っています。 ・気持ちの切り替えや感情のコントロール、対人関係の構築を学ぶための場面設定や振り返りを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の支援の充実を図るために、就労支援事業所等の見学や職員のスキルアップを目指します。
3	支援の統一	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日個別支援の取り組み内容や、その日の支援内容を細かく確認を行っています。 ・職員間で同じ支援を行うよう、都度確認、振り返りを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップを図り、利用者のライフステージに合わせた対応を行っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えていると思っていたことが、今回のアンケート結果で「わからない」の回答があったため、発信の仕方に課題があると考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が見やすいおたよりの作成について職員間で学んでいきます。また、ホームページ(ブログ)の活用や、必要に応じて玄関に貼り出す等の工夫をしていきます。
2	児童クラブや地域の子どもと活動する機会の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な感染症が流行し、児童クラブや地域の子どもと交流する計画が立てられませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策を講じ、今後は実施出来るように情報収集を行い、検討していきます。
3	地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃等を行うことが出来ましたが、様々な感染症が流行し、地域住民を招待する等の交流の機会を設けることが出来ませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策を講じ、今後は実施出来るように情報収集を行い、検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり江刺第二桜木 放課後等デイサービス

公表日 令和 7年 3月 31日

利用児童数 令和 7年 1月 1日

回収数 19名中 19名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	7		3	・人数が増えているので十分かは不明です。 ・建物が小さく見えるため分からない。 ・狭い空間を上手に使っているとは思いますが、活動するにはやはり狭いと思います。	限られたスペースではありますが、事業所内の使い方を検討していきます。また、過ごし方を工夫し十分に活動出来るスペースを確保していきます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1	3	4	・利用者が増え大変だと思います。忘れ物の確認不足や内部での情報共有が出来ていないと思う時がありました。 ・職員の人数が足りず、行事が急になくなったりする事があるため、足りないのかなあと感じました。 ・その日の利用者数と職員人数がどのくらい違うのか毎回きいているわけではないので、配置数が適切かどうかは分かりません。利用者に対してどの位置配置なのか分からないので答えるのに困ってしまいます。 ・何人いるか分からない。 ・いつも大変だと思います。人が少ないので仕方ないかなとは思っています。	職員の配置基準は満たしていますが、職員の体調不良等で体制が整わず、外出を中止させて頂いたことが1度ありました。また、忘れ物の確認不足や情報共有がうまくいかず、ご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ありません。今後は、チェック体制や情報共有の仕方について職員間で徹底していきます。年度初めと異動がある場合に、お便りでも職員を紹介しておりますので、ご確認頂ければと思います。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17				2	・以前見た時はなっていたが、今は分からない。	大きく環境は変わっておりませんが、いつでも事業所内をご覧いただけますので、お申し出ください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1			1	・きれいになっているかは外からは分からない。	事業所内は毎日清掃を行っています。また、事業所内と使用した物品の消毒を行っています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18				1		事業所内でアセスメントを行い、個々の特性に応じて対応しています。また、医師からの意見書や心理検査等の結果を確認しながら支援を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18				1		ご不明な点は、ご説明させていただきますのでお声がけ下さい。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18				1		個別支援計画を作成する際は、相談支援事業所で作成する計画をもとに、保護者へ聞き取りを行い作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18				1		放課後等デイサービスガイドラインを全職員が確認を行っています。内容を確認した上で支援計画を作成し、支援を行っています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18			1			毎日、朝会で支援計画の内容を確認してから支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18				1		輪番制で活動を計画し、職員間で話し合いながらプログラムを検討しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9			3	7		実施出来ておりませんでしたので、今後の課題となります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1					契約時、ご利用時等に説明を行っております。ご不明点がありましたら再度ご説明させていただきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1					モニタリングを行い、支援内容をご説明させて頂いております。ご署名頂いた後は、必ず控えをお渡ししています。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1	1	2	法人で外部講師を招き、ペアレント・トレーニングの保護者向け研修会を開催しました。所内では、保護者懇談会の際にペアレント・トレーニングの説明、情報提供を行いました。今後、是非ご参加ください。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	18			1	日々の申し送りや面談時に共通理解出来るよう、細かい情報もお伝えするよう努めております。引き続き、情報を共有しながら支援を行ってまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	1	1	保護者面談の期間を設けています。また、ご要望があった時や、ご相談を受けた際には支援を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17			2	利用者・保護者の方の声に耳を傾け一緒に考えながら支援を行っています。今後も継続していきたいと考えています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	4		5	・きょうだい向けについては、情報がありません。どのような事をやられているのか教えて欲しいです。 保護者同士の交流会等は開催されていませんが、現在兄弟同士の交流等の機会がない状況です。今後、開催等について検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15		1	3	・何かあれば、その都度の対応をして頂いてとても良いです。 ご相談等ございましたら、迅速に対応させていただきますのでお申し付けください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18			1	用紙を準備する等の工夫を行っています。内容により、電話や口頭での説明ではなく、家庭へ訪問したり面談の場を設けたりしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17			2	・分かりやすく見やすい通信で、色々な情報もあり、とても良いと思います。 毎月、お便りの配布とホームページのブログを更新を行ってまいりますのでご覧ください。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			1	個人情報取り扱いマニュアルを確認し、対応しています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17		1	1	契約時に各マニュアルについて説明を行い、事業所玄関にいつでもご覧いただけるようになっています。訓練を行った際には、おたよりでお知らせしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			1	非常災害に備え、年に4回訓練を行っています。訓練の様子は、おたよりでお知らせしていますのでご覧ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17		1	1	緊急時の避難場所をおたより等でお知らせし、水害等危険が予測される時には、早めに注意喚起を行っています。また、緊急連絡先を確認し受け入れを行っています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			2	・利用日数も減り、事故等はないため「わからない」の回答となります。 事故や怪我が発生した際には、早急に連絡を入れ、ご説明をさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	1		1	・利用日数は少ないが、職員の皆さんに心を開き安心感も大きいです。 ・首の過敏があるので、奇声をあげられると辛くなる時があるそうです。 ・子どもが安心して利用出来ています。 安心してご利用頂けるよう、環境を整えていきます。不安なことがありましたらご相談頂ければと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	4	1		・利用日数は少なくなったが、利用の日ほとても楽しみにしている様子が伺えます。 ・毎回、通所を楽しみにしております。沢山開かり、手厚い支援をして下さっているからだと思います。 「楽しい」と思って頂けるような活動を準備していきます。また、利用者の方の声に耳を傾け、意見を取り入れながら居心地の良い場所を提供できるように努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18			1	・利用する事で子どもの成長にも繋がります。色々と学ぶこともあり、とても感謝の思い一杯です。 ・事業所さんの支援に大満足しております。いつも本当にありがとうございます。 ご利用されている方々が必要な支援を提供できるよう職員一同努めて参ります。また、保護者の方々と一緒に子どもたちの将来に向け、今後も支援を行ってきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7年 3月 31日				
ひだまり江利第二桜木 放課後等デイサービス						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		事業所内は構造化しており、何をやる場かを分かりやすく区切っています。	ワンフロアの事業所であるため、ご利用される方に合わせ、都度部屋の使い方の工夫が必要と考えています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		基準を満たす職員配置を行っています。利用申し込みに応じ職員体制を組んでいます。また、定員が超過しないよう調整を行っています。	忘れ物の確認不足や申し送りに不備があり、職員が足りていないのでは？と保護者の方にご心配をおかけしてしまう事がありました。今後は、チェック体制や情報共有の仕方について職員間で徹底していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		所内は構造化されており、また、バリアフリーとなっており、車いすの方が使用できるトイレ、通路の確保を行っています。	いつでも事業所内はご覧いただけるよう、定期的にお声がけを行い、おたより等でも発信していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		1時間おきに所内の消毒、換気等を行っています。毎日使用した物品、車内も消毒しています。清掃当番を決め、チェック表を活用しながら掃除を行っています。	いつでも事業所内はご覧いただけるよう、定期的にお声がけを行い、おたより等でも発信していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		障がい特性に合わせた場所の提供を行っています。クールダウンや面談等、内容に応じて場所の提供を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日の朝礼や毎月の職員会議、モニタリング会議等で目標や取り組み内容の確認、振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に1回、評価表アンケートを実施し、結果を分析し所内で改善に向け取り組んでいます。内容は事業所のお便り等で発信しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員会議で報告、検討する場を設けています。課題は、改善するよう話し合いを行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		外部評価は受けていませんが、苦情や事故等の報告会を法人で開催し、弁護士や第三者委員の方々から助言を頂き改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		毎月の内部研修や法人内の研修、外部での研修の場を設けています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムを作成し、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		本人、保護者のニーズを確認しています。また、相談員が作成する利用計画や事業所でのアセスメントをもとに、計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		日々の目標への取り組み、振り返りを職員間で行い、共通理解を図っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画書とは別に、取り組み内容を一覧表にしています。（可視化）毎日朝会で取り組み内容の確認、振り返りを行い支援を行っています。	

適切な支援の提供

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		法人内で統一したアセスメントシートを使用しています。所内で支援ツールを準備、活用しアセスメントを行っています。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインを全職員が確認を行っています。内容を確認した上で支援計画を作成し、支援を行っています。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		毎月担当を輪番制とし、職員会議で話し合いながら立案を行っています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		新たな活動を取り入れたり、目標に応じて内容を変えたりしています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個々の特性に合わせ、アセスメントを取りながら個別の活動、集団の活動を組み合わせています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日朝会で支援内容、担当を確認し、打ち合わせを行ってから支援を行っています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		翌日の朝会で報告、振り返りを行い情報を共有しています。課題や改善点については、全職員で話し合い、対応しています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援に関して、記録をケース記録と日誌へ残しています。都度、記録を振り返りながら支援へ活かすようにしています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に1回(年に2回)、モニタリングを実施しています。必要に応じて支援内容の見直しや目標の見直しを行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインを確認しながら、4つの基本活動を組み合わせ支援を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自己選択や自己決定を目的とした活動を取り入れています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		利用者の状況を理解している児童発達支援責任者を中心に出席しています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係機関と情報を共有しながら支援を行う体制を整えています。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校から年間計画や行事予定、下校時間のお手紙を頂いています。また、常に電話での連絡調整を行い情報を共有しています。日々の様子の他にも長期休暇の様子等もお伝えしています。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		就学前に所属していた園へ訪問し、様子の確認や聴き取り等を行っています。都度、連絡を取り合い情報を共有しています。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		移行の際には、支援の経過や状況等の情報を文書でまとめ情報提供をしています。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		自立支援協議会療育部会等で連携を図っています。同様に情報交換会や研修にも参加しています。必要に応じて支援会議等も開催し、助言を頂いています。	

関係機関や保護者と

の 運 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	放課後児童クラブや児童館、地域の子どもの交流に関しては、今後の課題となります。実施に向けて前向きに検討していきます。	次年度は実施出来るよう進めていきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	自立支援協議会療育部会に参加し、情報交換や研修会等を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	連絡帳をご利用の都度記入し、やり取りを行っています。また、お迎えの際の申し送りや保護者面談等を通じて事業所の取り組みや自宅での様子を確認し、支援についての共通理解を深めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	法人で外部講師を招き、ペアレント・トレーニングの保護者向け研修会を開催しました。所内では、保護者懇談会の際にペアレント・トレーニングの説明、情報提供を行いました。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	契約時に説明を行っています。支援プログラムにつきましては、ホームページへ掲載しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	計画を立案する際には、相談員の作るサービス等利用計画と保護者の意向を確認しています。モニタリングの際にも、説明を行い、聞き取りも行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	支援計画の説明を行い、同意を頂いた際には計画書に同意の署名を頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	都度、相談に応じています。また、必要に応じて面談の時間を設け情報共有を行い、助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	保護者会のお知らせを玄関に掲示しています。文書は、玄関に設置しています。保護者の交流の場として、保護者懇談会を開催しました。	保護者会の行事はありましたが、きょうだい同士の交流等の機会がありませんでしたので、今後検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	苦情対応の窓口のお知らせを事業所玄関に掲示し、毎月発行しているお便りにも掲載しています。苦情等があった場合には、迅速に対応を行うようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	毎月、お便りを発行しホームページのブログの更新を行っています。連絡体制につきましても都度、お便り等でお知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	個人情報の取り扱いマニュアルをもとに、注意しながら対応しています。内部研修等でも職員間で周知し、慎重に取り扱っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	利用者、保護者の方が分かりやすいよう適宜対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	6	行事等への招待はありませんでしたが、地域の方が来所された時には、事業所の説明を行ったり地域の清掃を行ったりしています。	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	マニュアル集を準備し、事業所玄関に設置しています。訓練を実施し、実施した際にはおたよりでお知らせしています。		

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年間計画と共に策定し、非常災害の発生に備えています。定期的に訓練も実施しています。実施後は、お便り等でお知らせしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		面談を行い聞き取り、診断書や母子手帳等の確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		ご利用前に必ず確認し、対応しています。医師の指示書に基づき、提供方法を工夫し（他者の物と間違えないように）対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		法人で設置している委員会へ参加し、職員間で周知しています。ひやりはっとや事故等が起きた場合には、早急に対策を検討し実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		緊急連絡先の確認や避難場所の周知を行っています。訓練後は、様子等についてお便り等で発信しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ひやりはっとや事故等が起きた場合には、早急に対策を検討し実施しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法人で設置している委員会へ参加し、職員間で周知しています。定期的に入権擁護チェックを行ったり研修へ参加したりしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束を行う際には、委員会での検討や全体へ周知を行い、保護者へ説明、同意を得ています。支援計画にも記載し、都度支援の見直しを行いながら対応しています。		